

特色ある学校づくりに係る資料（平成29年度）

学番	特14	学校名	県立高田特別支援学校	校長氏名	赤松 雅史
----	-----	-----	------------	------	-------

I 校長として目指している学校像

- 1 障がいの重度・多様化傾向を踏まえ、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた、安心安全な教育を推進できる学校
- 2 児童生徒一人一人のニーズに応じて適切な指導と必要な支援を行うために、教員等個々の専門性を高めるとともに、関係機関との連携・協力による専門的な支援体制を目指す学校
- 3 地域における知的障がい教育を中心とした特別支援教育のセンター的役割を担うとともに、自然災害時には、障がいのある方々の避難所として迅速に機能する学校

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

た	…	高い使命感をもつ
か	…	課題を的確に把握する
と	…	特別支援教育に関する専門性を高める
く	…	苦楽をともにし、協力して仕事を進める
50	…	創立50年の歩みを振り返ろう

※学校は児童生徒の幸せのために存在。そのために心を合わせる職員

※児童生徒向けの「たかとく」

(たのしく・かっこよく・ともだちと・くじけない)

III 特色ある学校として

本校は知的障がいのある児童生徒を主たる教育の対象とした特別支援学校である。近年は高等部段階からの入学希望者が多く、障がいの重度化・多様化に加え、発達障がい等の生徒の入学も増えてきている現状があり、本校に求められる教育的ニーズは多様化してきている。

そこで、高等部の教育課程をコース制とし、障がいの程度が重度から軽度までの高等部生徒の幅広いニーズに対応できるようにする。また、今後とも全ての障がい種に対応できる特別支援学校教諭免許状の取得推進や教員の専門性を高める校内研修を積極的に進め、保護者や関係機関との連携のもとに、一人一人の教育的ニーズに応じた安心・安全な学校を目指す。

また、上越地区におけるコーディネーター養成研修の拠点校として、白嶺分校とも連携しながら、幼稚園・保育所、小・中学校、高等学校のニーズに応じた計画的な研修を推進していく。

学校創立50年を振り返り、感謝と次の半世紀への思いを深めたい。